

# I F R S に関する取組み

---

株式会社日本取引所グループ

# 会計基準の選択に関する基本的な考え方の開示

## ➤ 2014年6月24日「日本再興戦略」改訂2014

### ④ IFRSの任意適用企業の拡大促進 (P.78)

上場企業に対し、**会計基準の選択に関する基本的な考え方**（例えば、IFRSの適用を検討しているかなど）について、投資家に説明するよう東京証券取引所から促すこととする。

## ■ 対応

- ✓ 年度末の決算短信において「会計基準の選択に関する基本的な考え方」の記載を要請
- ✓ 2014年11月11日に上場会社に通知済

## ■ 適用時期

- ✓ 2015年3月期決算短信から適用。ただし、早期適用可。

## ■ 記載箇所

○決算短信（サマリー情報）

○決算短信（添付資料）

- ・ 一律に記載を要請している事項
- ・ 投資判断に有用な情報の追加に係る要請

(a) 添付資料の目次

(b) 経営成績・財政状態に関する分析

(c) 継続企業の前提に関する重要事象等

(d) 経営方針

**(e) 会計基準の選択に関する基本的な考え方**

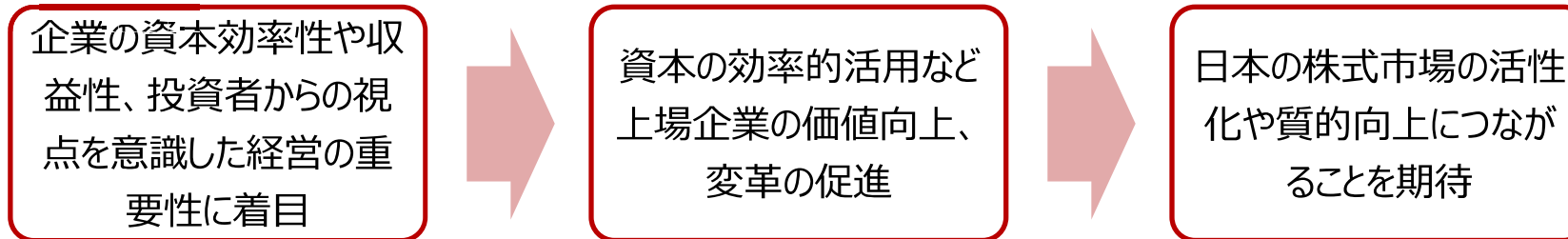
(f) 連結財務諸表

追加

# JPX日経インデックス400



## ■ 狙い



## ■ 概要

<b>構成銘柄数</b>	400銘柄						
<b>対象銘柄</b>	東証上場銘柄（市場第一部、市場第二部、マザーズ、JASDAQ）						
<b>銘柄選定方法</b>	<p>【選定基準】</p> <p>(1) スクリーニング（適格性、流動性）→1000銘柄に絞り込み</p> <p>(2) 定量的な指標によるスコアリング</p> <table border="1"><tr><td>3年平均ROE</td><td>3年累積営業利益</td><td>時価総額</td></tr></table> <p>(3) 定性的な要素による加点</p> <table border="1"><tr><td>独立社外取締役</td><td>IFRSの採用</td><td>英文開示</td></tr></table> <p>(4) 構成銘柄の決定</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ (3) の加点の後、スコアが高い順に400銘柄を選定</li></ul>	3年平均ROE	3年累積営業利益	時価総額	独立社外取締役	IFRSの採用	英文開示
3年平均ROE	3年累積営業利益	時価総額					
独立社外取締役	IFRSの採用	英文開示					

# 企業行動表彰



## ■ 企業行動表彰の概要

目的	東証が市場開設者としての立場から望ましいと考える上場会社としての企業行動の普及・促進を図るため。
表彰対象	東証の上場規則に設けている企業行動規範に既に採用され、又は、今後採用される可能性の高い企業行動のうち、先駆的な企業行動として、他の上場会社の企業行動に影響を与え、新たな流れを作るなど、当取引所の企業行動規範の浸透又は充実に資すると認められる企業行動を表彰対象とする。
選定対象	全国内上場会社を選定対象とする。
表彰時期	毎年1回、表彰を行う。
特徴	表彰テーマを事前に公表することによって、上場会社の積極的な取組みを促進することとする。 ※表彰テーマは毎年変更

## 平成25年度受賞会社

平成25年度の企業行動表彰は「**IFRS適用に向けた積極的な取組み**」というテーマの下、IFRS導入に係る意見発信や情報提供を積極的に行い、それらが他社の参考事例となった点などを評価して、日本たばこ産業(株)、日本電波工業(株)、HOYA(株)、住友商事(株)の4社を表彰。